

事業概略書

| | |
|------------|--|
| 事業名 | 障害者ピアサポート研修における講師の養成のための研修カリキュラムの効果測定及びガイドブックの開発 |
| 事業目的 | <p>本事業では、厚労科研「障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に係る講師を担える人材の養成及び普及のための研究」（令和元年～2年度）で実施してきた「障害者ピアサポート研修」の講師・ファシリテーター養成研修の講義スライドを作成し、そのカリキュラムに基づいた研修を実施する。その効果を評価したうえで、講師・ファシリテーター養成研修スライドをブラッシュアップするとともに、今後、各地で進められていく講師・ファシリテーター養成研修の開催に関するノウハウを含めた報告書を作成することを目的としていた。</p> |
| 事業概要 | <p>令和3年度から「障害者ピアサポート研修」の修了を要件としたピアサポーターの加算が創設され、今後、自治体を実施する「障害者ピアサポート研修」の講師及びファシリテーターの育成が課題となっていることから、これまで実施してきた講師・ファシリテーター養成研修に係る講義スライドのブラッシュアップを行った。それをもとに、全国6カ所の自治体で講師・ファシリテーター養成研修を実施し、その効果を評価したうえで、今後各地で進められていく障害者ピアサポート研修や講師・ファシリテーター養成研修の開催に関する（合理的配慮事項を含めた）報告書を作成した。さらに、本事業で予定されていたわけではなかったが、基礎研修テキスト、専門研修のシラバスを作成、及びテキスト改定を行った。特に、過去の厚労科研で作成した専門研修テキストが精神障害のみを対象としたものであったため、すべての障害を対象とした内容への改定を行った。</p> |
| 事業実施結果及び効果 | <p>ピアサポートの活用が報酬として認められたことにより、都道府県、政令指定都市による障害者ピアサポート研修事業が進められていくことが予測される。基礎・専門研修の実施に際して、講師やファシリテーターを担う人材の育成が急務であり、本事業において、その養成プログラムを開発した。また、すべての障害を対象とする専門研修テキストに対する自治体のニーズは高く、要望に応えるために専門研修テキストをすべての障害を統合したバージョンとして改めて作成した。研修で活用できるツールの開発により、障害福祉サービス等におけるピアサポートの活用が促進されることが期待される。</p> |
| 事業主体 | <p>郵便番号：179-0004 所在地：東京都豊島区北大塚3-34-7 法人名：社会福祉法人豊芯会 電話番号/E-MAIL：03-3915-9051/ ji-housinkai@housinkai.or.jp</p> |

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入す